



町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。



1 2 大きなひまわりが咲くことを願って種を植える子どもたち 3 プロジェクトの構想を話す湯之上代表(右) 左は寺下選手 4 雨の中でも元気にプレー 5 動いた後のお楽しみのバーベキュー「いただきます」

元気に育て「ひまわり畑」

「ヴォルターズ農園」オープニングイベント

東無田地区では、住民が中心となり、町総合体育館を本拠地としていたプロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」と連携した地域活性化プロジェクトが進行中です。その先行プロジェクトとして、6月29日、小池島田仮設団地近くの農地に、ひまわり畑「ヴォルターズ農園」をオープンしました。

当日は、共同で計画を進めているヴォルターズから、湯之上^{ゆのうえとし}代表をはじめ、寺下^{てらしただい}太基選手、U-15(15歳以下)メンバーも参加。湯之上代表がプロジェクトの構想を話した後、みんなでひまわり畑まで歩いて移動しました。主催者からひまわりの種を受け取った約30人の子どもたちは、軟らかい土の感触に楽しそうな声を上げながら、ビニールひもに沿って種を植えていきました。ただ、途中で雨が降ってきてしまい、最後まで植えられなかったことを残念がりながら、急いで仮設団地まで引き返しました。

仮設団地では、バーベキューの準備が行われていましたが、準備ができるまで、子どもたちは雨の中でも元気にバスケットボールをプレーしていました。

あいにくの天気となりましたが、これからの連携プロジェクトの展開に向けて、楽しくにぎやかな第一歩となりました。

長年にわたる消防防災活動に褒章

とみた 富田セツコ会長が らんじゅ 藍綬褒章受章を報告

熊本県女性防火防災クラブ連合会会長の富田セツコさん(福富)が、5月21日に発令された令和元年春の褒章で藍綬褒章を受章し、6月26日、受章報告に役場仮設庁舎を訪れました。

藍綬褒章は、多年の努力により公衆の利益に貢献した人に天皇から授与されるもので、富田さんは長年にわたり町婦人防火クラブの会長を務め、地域の防火意識の向上に貢献してきました。長年の努力が認められた富田会長は、嬉しそうに町長に報告していました。



あい じゅ 藍色の綬(リボン)の記章を掲げる富田会長と西村町長

Best Smile
今月のベスト笑顔

